

CNTエアーロック封函機部品表

品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
CRN101	シリンダー	CNT135	プッシャーカム	CN173	ケース
CR102	エアプッシャー (PT1/4)			CN174	針押し
CR103	エアチャック (PT1/4)	CRN136	座金	CN174A	バネ
CRN106	ビス	CRN137	スプリングワッシャー	CN174B	ロット
CRN106A	座金	CRN138	袋ナット	CN174C	板バネ
CRN107	ナット			CN174D	ワッシャー
CRN108	Oリング	CN145	ビス	CN174E	袋ナット
CRN109	ピストン	CN146	押し板		
CNT110	ピストンロッド	CN147	押し板受台	CRN196	フック
CRN111	リング	CN148	ピン	CRN197	オイルサ (PT1/4)
CRN112	Oリング	CN149	ピン	CRN198	ワッシャー
CRN113	Oリング	CN150	爪用リンク	CRN199	キャップボルト
CR114	バルブバネ	CN151	爪受台 (右)	CRN201	止メ輪
CRN115	Oリング	CN152	爪受台 (左)	CRN202	スプリングピン
CRN116	Oリング	CN153	ピン	CRN203	カムピン
CRN117	バルブ	CN154	爪 (右)	CRN205	ブッシュ
CRN119	バネケース	CN155	爪 (左)	CRN206	プレート
CRN120	プッシャー	CN156	ビス	CRN207	スクリュー
CRN121	プッシャーバネ	CNT163	本体A		
CRN122	プッシャープレート	CRN165	キャップボルト		
CRN123	Oリング	CN166	バネ		
CNT124	シリンダー受台	CN167	ケース受		
CNT125	ピン	CN168-1	ホルダー		
CRN127	エキセンピン	CN169	ビス		
CRN129	引金				
CRN133	引金バネ (大)				

CNTエアーロック封函機取扱説明書

Lock

ロック株式会社

営業本部

〒581-0041 大阪府八尾市北木の本3-7
TEL 072-995-6901 FAX 072-995-6902

東京営業所

〒343-0031 埼玉県越谷市大里647-1-103
TEL 048-976-6907 FAX 048-976-6909

福岡営業所

〒816-0921 福岡県大野城市仲畑4-18-10
TEL 092-573-4868 FAX 092-573-4869

鹿児島営業所

〒899-5652 鹿児島県始良市平松5419-2
TEL 0995-73-4960 FAX 0995-73-4961

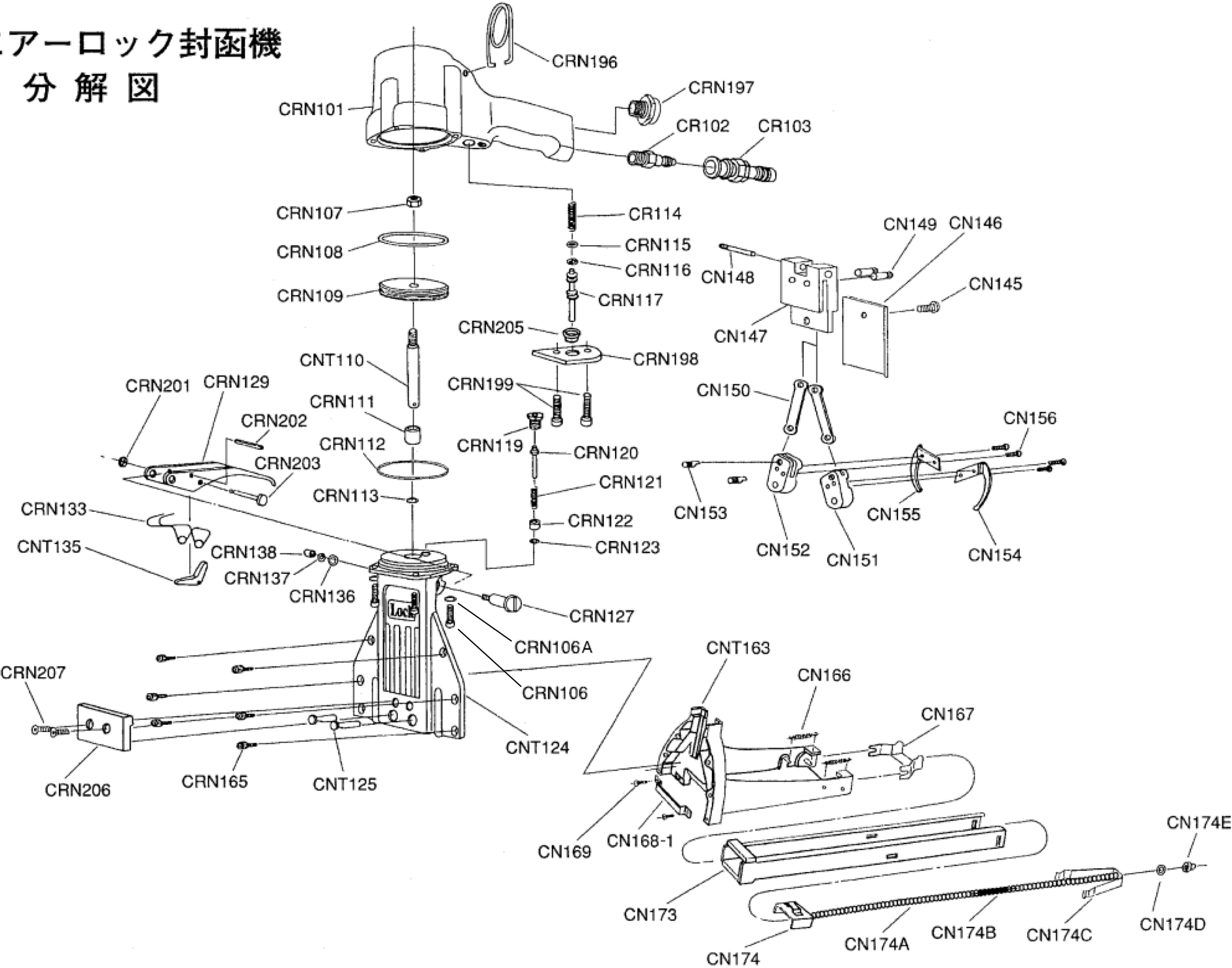
中部営業所

TEL 072-995-6901 FAX 072-995-6902 (営業本部)

★標準仕様一覧

製品名	CNTエアーロック封函機
項目	
針 サイズ	35mm x 15mm 35mm x 18mm
針 組 込 本 数	100本
打 込 み 深 さ 調 節	2段階
標準使用空気圧力	6.0～7.0kg/cm ²
一発の針を打つための所要空気量	約2.0ℓ (大気圧)
コンプレッサーとの組合せ	400W (毎分20本)
ゴムホース接続部寸法	1/4B.ゴムホース内径Φ6mm
外形寸法	高さ210mm x 幅110mm x 長さ410mm
製品重量	2.4kg
付 属 品	カプラー 1ケ 六角レンチ 1ケ

CNTエアーロック封函機
分解図



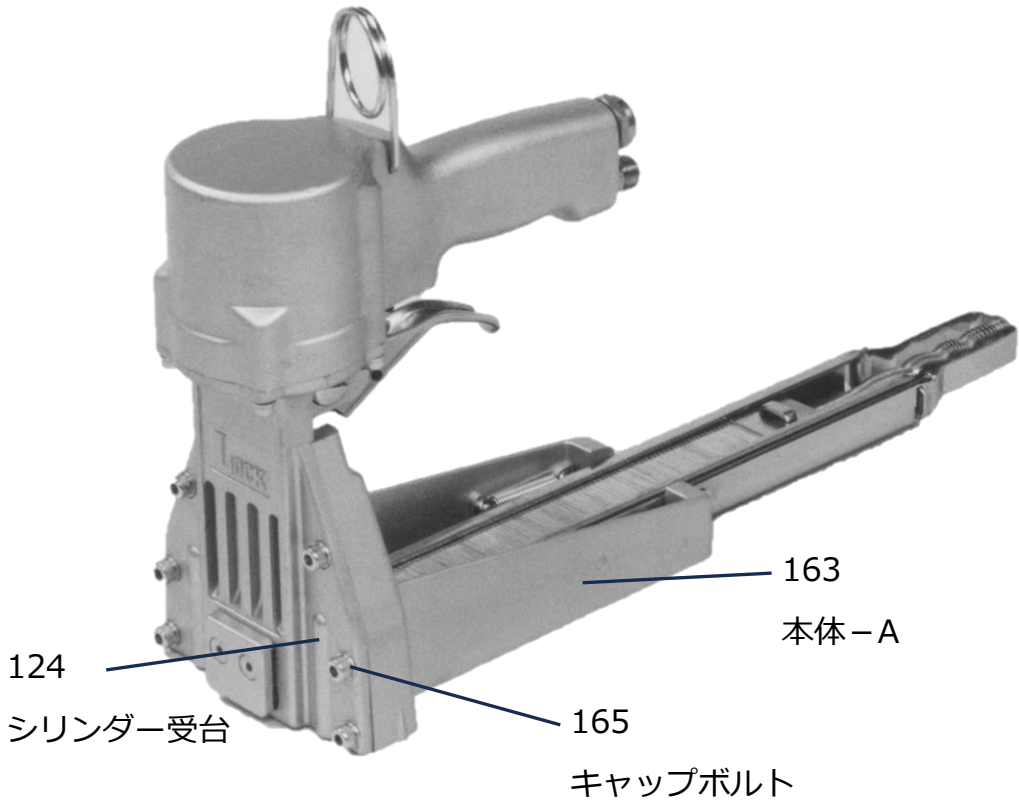
注意

ステーブルのあるなしに拘らず封函機を作動させると本体 A（CNT163）の前方下面より一対の爪が出て来ますので絶対に手を近づけないで下さい。

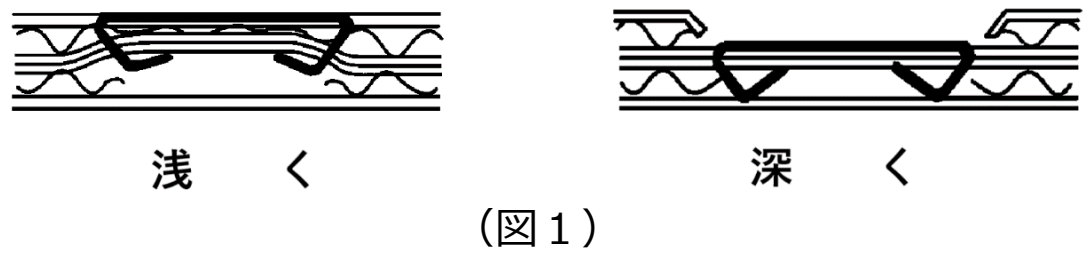
注意

とは、・・・「調整又は運転時に不適切な取扱いをすると危険です。充分安全には気をつけて下さい。」を意味します。

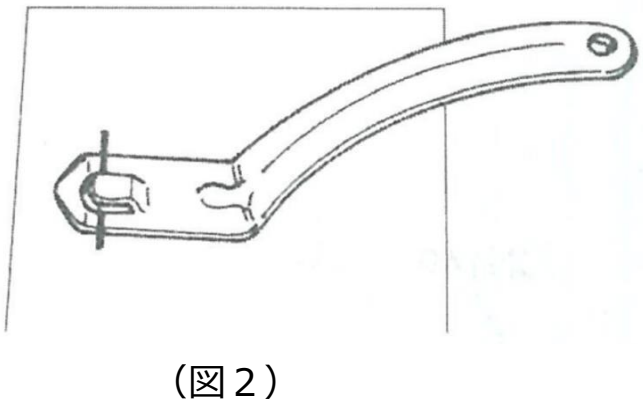
1. 打込み深さ調節方法



打込み深さは
シリンダー受台を本体Aに対して上方に
スライドすることで調節出来ます。

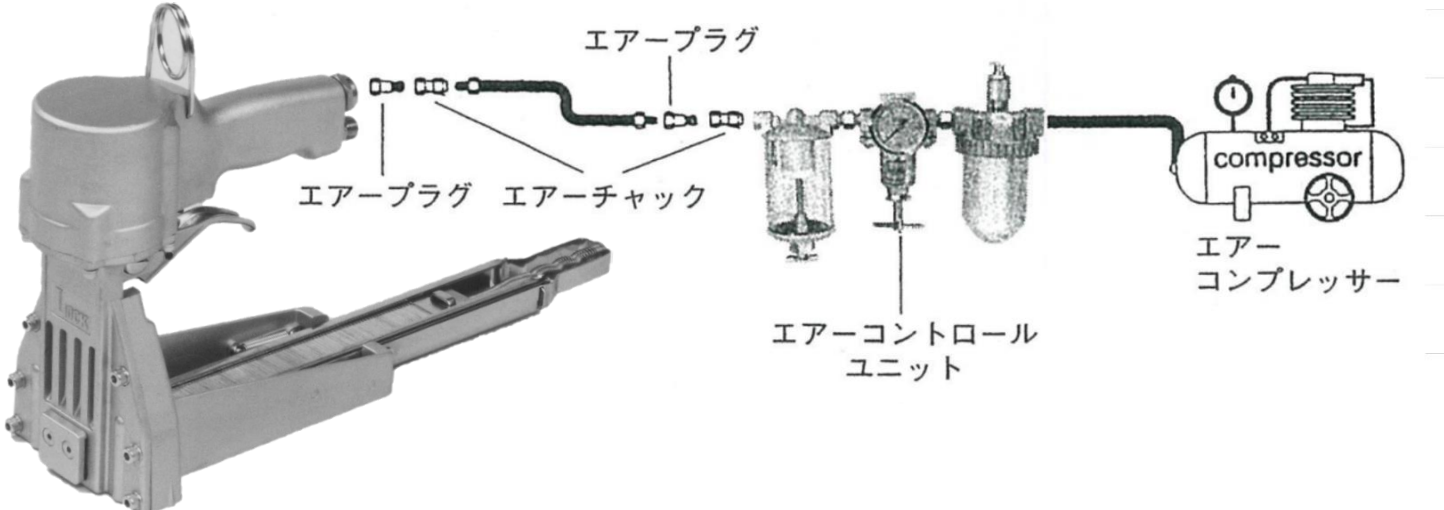


4. 封緘した針を抜き取る時は、別売の抜針器により簡単に抜き取ることが出来ます。（図2）



5. 使用前後の注意

- (1) エアークントロールユニット（フィルター、レギュレータ、オイル）を接続して下さい。
- (2) コンプレッサータンク及びエアークンタ内のドレーン（水埃）を抜いて下さい。更にホース内にもドレーンのないことを確認の上封函機に接続願います。（ドレーンが封函機に入りますと故障の原因となります。）尚、ホース内のドレーンチェックは封函機をエアーダスターにつけかえエアーを放出することで簡単に出来ます。
- (3) 封函機の回転部分、摺動部分等の運動する個所には見える範囲で毎日数滴注油して下さい。（機械をより長く使用出来ます。） **注意**



- (1) 6本のキャップボルト（CRN165）を均等に少し緩めて下さい。シリンダー受台（CNT124）を矢印方向にその長穴分だけ持上げます。シリンダー受台の移動した寸法だけ浅く打つことが出来ます。（図1）
- (2) 調節後はキャップボルト（CRN165）を充分に締めて下さい。これを締め忘れて使用中に緩みますと機械がこわれますのでご注意下さい。
- (3) 装填完了後、空打ちを数度行い、正常にクリンチされたステーブルが出るか確認後、使用して下さい。 **注意**

2. 注油 **注意**

- (1) 給油は必ず使用前に毎日行って下さい。
- (2) 油の種類は、スピンドル油を使って下さい。
- (3) 機械の動きが円滑でない時は、爪受台（CN151, 152）の回転部や押板（CN146）のガイド部等にスプレーグリスを塗って下さい。
- (4) エアークントロールユニット内のオイルは機械が20回作動して油が一滴落ちる程度に調節して下さい。 **注意**

3. 分解、組立を行う時の注意

- (1) 添付のCNTエアロック封函機分解図を参考にして下さい。
- (2) 機械に不審な点がある場合は、皆様方で分解せず、必ずアフターサービス係又は代理店に申し出て下さい。
- (3) 分解、組立、調整時には特に安全に留意して下さい。 **注意**

ご使用上の注意事項

1. 説明書

- ⚠ 注意** ・ご使用前に必ず取扱説明書を最後までお読み下さい。
・この取扱説明書は、使用者が常に内容を確認出来る様に保管して下さい。

2. 使用上の注意事項

- ⚠ 警告** ・動力源は圧縮空気（コンプレッサー）以外使用しないで下さい。
・使用空気圧は標準仕様の空気圧力の範囲内で使用して下さい。
・作動レバーに指をかけた状態で、エアーホースを接続されますと、作動する恐れがあり大変危険ですのでご注意下さい。

3. 調整・修理・その他の注意事項

- ⚠ 注意** ・子供の手の届かない所に保管して下さい。
・針の曲がりの調整や、針づまりを調整する時は、機械を下に向けて調整して下さい。針がハネて目や顔を傷つけることがあります。
・作業終了、点検、分解、修理はエアーホースの継ぎ手を外して下さい。継ぎ手が付いていない場合は、エアーホースの元栓を止めて下さい。
・ご不明の点がございましたら、メーカー又は代理店にご相談下さい。

4. 封函針の注意事項

- ⚠ 注意** ・ステーブルの切り口に注意する事。
鋭い刃になっていますから、人に投げて渡したり、刃先に手や指を触れないで下さい。
・割れたり、はずれて落ちたステーブルは、すぐ拾って片付けて下さい。踏みつけて足に刺さることがあります。
・ステーブルの銅メッキは錆びると強度が低下します。
水に濡らしたり、湿度の高い場所での保管をしないで下さい。
・1ケースの重量は、20kgを超える物もありますので、落下すると人体を損傷させたり、商品の中身が損傷します。
・ステーブル（封函針）は、ステーブラー（封函機）以外に使用しないで下さい。